

平成29年度 出雲市立大社小学校 学校評価

1 学校教育目標

たくましさと創造性に富み、人間性豊かな子どもの育成

2 めざす子ども像 「かがやくひとみと笑顔の子」

・自ら学び、考えを深める子 ・仲よく助け合い、思いやりのある子 ・明るく健康で、たくましい子 ・ふるさとを愛し、進んで奉仕する子

3 努力目標

(1) わかる授業 (2) かがやくひとみと笑顔の子 (3) 開かれた学校

<評価の基準> 4…達成している 3…おおむね達成している 2…あまり達成していない 1…達成していない

評価の観点	評価項目	自己評価		学校関係者評価		改善の方策
		評定	達成状況	自己評価についての意見	評定	
学力向上 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> 算数を中心として、全国、県の学力調査を分析し、児童が主体的に学ぶ授業改善に取り組む。 基礎基本の定着をめざし、朝学習や補充学習に力を入れる。 児童の実態に即した家庭学習に工夫する。 	3.0	<ul style="list-style-type: none"> 全担任が研究授業を行い、授業力の向上に努めた。算数教育の今後の方向性について見通しをもてた。算数が好きな児童が増えた。 計算練習など継続的にできたが、放課後補充学習の時間が十分に確保できなかった。 「学習の手引き」をもとにして家庭学習の習慣化ができてきたが、個人差もある。 	<ul style="list-style-type: none"> 学力調査の結果からの課題（算数）(国語)にしっかり取り組んでほしい。 算数好きの子が増えていることは研究の成果であると思う。今後も児童の興味・関心や考えを大切にしながら実践してほしい。 家庭学習の習慣化は、家庭と連携した取組となるように工夫してほしい。 	3.2	<ul style="list-style-type: none"> 学力調査結果から現れた課題を克服する具体的な学力向上策に取り組んでいく。 より深い学びにつながる話し合い活動の工夫をとおして、自ら考え、進んで表現することのできる児童の育成に努める。 「家庭学習」「読書」の習慣化は、保護者も課題意識をもっているため、連携した取組を考えていく。
人権・同和教育 生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> 「日本一の思いやり学校」をめざしてあいさつ、言葉づかい、学級や学校のルール・マナーの習得にむけて継続的に指導する。 掃除を率先して行い、一生懸命働くことの大切さを体感させる。 児童や保護者が悩みを相談しやすい環境を整える。(おはなしタイム等) 	3.0	<ul style="list-style-type: none"> あいさつは「礼→あいさつ」の流れを示したことで少しずつできるようになってきた。 掃除は、熱心にできる児童もいるが、さらに全体がよくなるようにマニュアルづくりを考えたい。 児童の実態把握のために、教育相談、アンケートQ-Uを定期的に行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 効果をあげているあいさつ運動や道徳教育を中心に、人の立場に立って思いやる心の育成を更に継続してほしい。 日々、児童との触れ合う場(一緒に語る、遊ぶなど)の確保に努めることで、児童の思いやサインを感じ取り、指導に生かしてほしい。 	3.3	<ul style="list-style-type: none"> あいさつ、返事等の基本的な生活習慣定着の指導を継続して実施していく。 道徳教育、人権・同和教育等の指導を通して、豊かな心を育てる教育をさらに進めていく。 保護者アンケート、アンケートQ-U、教育相談の結果を活用した学級・学校の人間関係づくりをさらに進めていく。
健康教育	<ul style="list-style-type: none"> 外遊びの奨励や季節に応じた体力づくり(鉄棒・なわとび等)を実施し体力の向上を図る。 「早寝、早起き、朝ご飯」等、基本的な生活習慣が定着するようにする。 学校保健委員会により、健康課題について地域や保護者とともを考えていくようにする。 	3.1	<ul style="list-style-type: none"> 校庭や遊具で遊ぶ児童の姿を見ることができた。鉄棒やなわとびの活動が盛り上がった。 チャレンジ週間に積極的な取組が感じられるが、「早寝」「メディア」に課題がみられた。 学校保健委員会で「体づくり」を取り上げ、保護者とともに研修することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 「早寝」「メディア」などの取組は、家庭との連携が不可欠である。課題を各家庭と共有し継続的な取組につながるよう取り組んでほしい。 「体づくり」の取組はとても良いことだと思うので、今後も継続して取り組んでほしい。 	3.2	<ul style="list-style-type: none"> 学校保健委員会の取組を継続し「早寝、早起き、朝ご飯」「メディア」について、家庭や地域とともに考える機会を設ける等、連携した取組を工夫する。 芝生の校庭等恵まれた環境を生かし、体力づくりや外遊びの奨励を継続し、運動能力向上と元気な子どもづくりを進めていく。
安全・安心な 学校	<ul style="list-style-type: none"> 児童の安全のため、定期的な安全点検、時期をとらえた安全指導を実施する。 様々な危機を想定した避難訓練や防犯教室、緊急対応訓練の実施による安全意識や危機回避能力の高揚を図る。 	3.2	<ul style="list-style-type: none"> 安全点検を計画的に実施し、校地内における危険箇所等を把握し、対処することができた。 いろいろな場面を想定した防災・防犯訓練を計画的に実施し、安全意識を高めることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 校地、校舎が整備されており気持ちが良い。 各種訓練が計画的に行われており、児童の安全意識を高める取組が行われている。 今後も通学路点検、危険箇所の把握等、地域、保護者と連携した取組を継続してほしい。 	3.4	<ul style="list-style-type: none"> 学校生活における安全指導をさらに徹底し、事故防止と安全意識の高揚に努める。 各種訓練や防犯教室等を保護者や地域と連携して実施するとともに、緊急時の対応について共通理解する機会を設け、適切に対応できるようにする。
家庭・地域との 連携	<ul style="list-style-type: none"> 学校だよりやHP等により積極的に情報発信するとともに学校行事等を計画に実施する。 「学校応援隊」等、地域の「ひと・もの・こと」を活用した教育活動を積極的に実施する。 保護者や地域の声に迅速な対応をしていく。 	3.1	<ul style="list-style-type: none"> 学校だより、学級・学年だよりの配布、HPの更新により情報発信ができた。更新も多くなった。 地域コーディネーター新設から2年目によって、「学校応援隊」の活動がより充実した。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校だよりやHPなどにより、学校の様子がよく分かった。緊急メールも効果的である。今後も積極的な情報発信を継続されたい。 地域コーディネーターにより学校応援隊がより充実してきている。ドリルタイムなどは単発でなく継続してほしい。 	3.5	<ul style="list-style-type: none"> 情報発信は、今後も継続して取り組んでいく。 「学校応援隊」は、学習面だけでなく、環境面や安全面もより充実を図る。そして、計画的な取組により、「開かれた学校」になるように進めていく。 今後も保護者や地域の声に迅速な対応をしていくことを継続する。

